

2・3年 単元名「西鳥の海に行こう」(18時間)

1 単元設定の理由

本校の目の前には大阪湾が広がり、校区には西鳥取漁港があって、海とはつながりの深い学校である。また、校区にある波有手の海は、透明度や水の深さ、潮の流れなどがアマモの生息に適した海である。そこで、自分たちの手でアマモを育てることで、地域の自然や文化を理解するとともに、校区への愛情を深めることができると考えた。また、アマモの種を3年生から2年生に引き継ぐことで、学習が継続的なものになるようにした。

2 単元目標

「海のゆりかご」といわれるアマモ場に集まる生き物の観察を通して、生き物の多様性やつながりに気付く。

人びとの生活と海との関係に気付き、日常生活において、自然環境に配慮しようとする。

3 単元の評価規準

「海のゆりかご」といわれるアマモ場に集まる生き物の観察を通して、生き物の多様性やつながりに気付くことができる。

人びとの生活と海との関係に気付き、日常生活において、自然環境に配慮しようとすることができる。

4 単元の指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
11月	1 (2年生) 3年生の「西鳥の海」の発表を聞いて、アマモの種をもらう。 学習発表会で3年生による、海の生き物やアマモについての劇を鑑賞し、「西鳥の海」に関心を持つ。 学習発表会が終わった後に、アマモの種を受け取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生の学習成果を聞いて、これからの学習の見通しを持たせる。 ・3年生が採取したアマモの種を受け継ぎ育て、自分たちも次の学年に引き継いでいくことを伝える。
11月	2 3 (2年生) アマモの種まきをする。 地域の方からアマモの種まきの仕方を教えてもらう。 海の水を入れたポットの中に、アマモの種をまき、水槽の中に沈める。 アマモの種を紙粘土に包み、海に投げ入れる。 岩井克巳様、学生ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・アマモの種を実際に見たり、触ったりすることで興味を持たせる。
12月	4 5 (2年生) 海藻押し葉を作る。 ビデオやパワーポイントなどで、西鳥取の海に生息している海藻のことについて知る。 何種類かの海藻を使って、絵はがきの上に好きな形を作り、押し葉にする。 河原美也子様、前田ゆきみ様	<ul style="list-style-type: none"> ・海藻は海の生き物のすみかやえさとなり、海を浄化する役割を果たしていることに気づかせる。
1月	6 7 (2年生) チリメンモンスターをさがす。 海にはたくさんの小さな生き物(チリメンモンスター)がいることを知る。 チリメンモンスターを種類ごとに分けて、台紙に貼り付ける。 名倉やよい様	<ul style="list-style-type: none"> ・海の中には陸の生き物と同じように、姿や形、大きさが違うさまざまな生き物がいることに気付かせる。 ・選別したチリメンは台紙に貼り付けて、ファイルにする。

3月	8・9	(2年生) アマモの植え付けをする。 水槽栽培で発芽したアマモをゲストティーチャーの方に植えてもらうようすを観察する。 海苔すきの体験をする。 岩井克巳様、名倉勲様、学生ボランティア	・冬の海で育つアマモや「西鳥の海」の環境についてさらに関心を持たせる。
6月	10	(3年生) 学んだことを思い出す。 2年生での学習を想起し、体験したことや学んだことを出し合う。 3年生でさらに知りたいことや、体験したいことを考える。	・2年生で体験したことや知ったことを思い出させるとともに、3年生での学習に関心を持たせる。
6月	11・12	(3年生) アマモの花枝採りをする。 海に入り、自分たちが育てたアマモの成長を確認しながら、花枝を集める。 岩井克巳様 地曳網を体験し、西鳥の海に生息する生き物の観察をする。 鍋島靖信様、学生ボランティア	・普段は入ることのできない海でも、大潮の日には海に入ってアマモを直接見ることができ、そこにいるたくさんの生き物を観察させる。
9月	13・14	(3年生) アマモの種取りをする。 花枝から成熟した種子をピンセットで集め、アマモはイネ科の植物と似ていることを知る。 アマモの育つ環境や、アマモの役割などについて知る。 岩井克巳様、松本貴美枝様、学生ボランティア 2年生に種を引き継ぐ時期が来るまで保存しておく。	・大阪湾の環境やアマモの役割についての話を聞き、アマモを育てる活動は海の保全に役立つことを理解させる。
10月	15・16	(3年生) 「西鳥の海」新聞を作る。 これまでに学んだアマモや西鳥の海について学んだことをまとめ、グループごとに新聞を仕上げる。	これまで学んだこと、新たに分かったこと、伝えたいことなどを確認し、グループに分かれて壁新聞にまとめる。
11月	17・18	(3年生) 学んだことを伝える。 他の学年の人や地域の人たちにアマモについて学んだことの中で、どのようなことを伝えたいかを話し合う。 その話し合ったことをもとに、劇と替え歌を作る。 学習発表会で、アマモについて学んだことを伝えるための劇と替え歌を発表する。 学習発表会が終わった後に、2年生にアマモの種を引き渡す。	自分たちの学んだことや伝えたいことを劇のセリフや歌の歌詞に入れることで、表現する意欲を高めるようにする。
外部連携 / 教材等 (外部連携) 岩井克巳様 鍋島靖信様 前田ゆきみ様 名倉やよい様 名倉勲様 河原美也子様 学生ボランティア (教材) 波有手の海			松本貴美枝様